

さんむ医療センター

建て替え費用は約百億円

山武市

議会質疑で明らかに

地方独立行政法人・さんむ医療センター建て替え基本構想がこのほど作成された。9月から始まった山武市議会第3回定例会で病院建て替えを巡る質疑が交わされた。それによると新病院の建て替えは現在地で行われるのか、新たな土地を求めて建設されるのかは未定で、建設費用は約100億円という。以下は質疑で明らかになった建て替えへの流れを追った。



質問に答える椎名千収市長

9月8日、同日、石川和久、本山英子両議員が病院建て替え等に関する問題点を質した。椎名千収市長、川島勝喜健康福祉部長、鈴木幸宏財政課長は大略次のように答えた。

以下は答弁要旨及び基本構想からの引用。
基本計画は平成29～30年度に作成する。この計画で、建設事業計画、医療機能計画、施設整備計画など基本的

なものを決める。次に30～31年度に基本設計などに入り、実施設計を32年度に作成、33年度に事業実施段階に入る。ここで建設工事発注となる。
建設工事だが、現在地での病院建て替えか移転建て替えかは未決定。現地建て替えの場合33～37年度、移転建て替えは33～35年度を見込んでいます。建設費用は移転建て替えの

方が若干安いという。建設費用は98億6800万円。これを100億円としてそれぞれの負担は設立団体・山武市が60億円、国の交付税20億円(30年償還の起債)、病院の負担20億円となっている。起債の償還は利子を含め年間2億2千万円となる。

現時点では移転新築地は未定だが現在地と大きく環境は変わることはない、としている。建設資金に減債基金を充てることも考えている。市から病院への繰出金は年3億4千万円程度、これが大きく変わることはない、などの答弁があった。